



想いを描こう。



住宅型有料老人ホーム「グラーダ栄東」  
ご入居のご案内



## 「ご入居者様の『あるべき人生』を常に想う」

「ご入居者様お一人お一人が、  
どうしたら毎日を笑顔で快適に過ごしていただけるだろうか？」

すべてのスタッフは日々、  
それを真剣に考えながらご入居者様と向かい合っています。

スタッフ体制は、ご入居者様2人または1.5人に対し1人。

全国でも数少ない<sup>\*</sup>基準の1.5~2倍の体制としたのは、  
介護は「人」と「人」が向き合わなければ成立しないからです。

ご入居者様に待っていただくなくてもよいということは、  
スタッフにとっても安心できる環境であると考えています。

また医療機関と提携し、看護スタッフが24時間常駐することで、

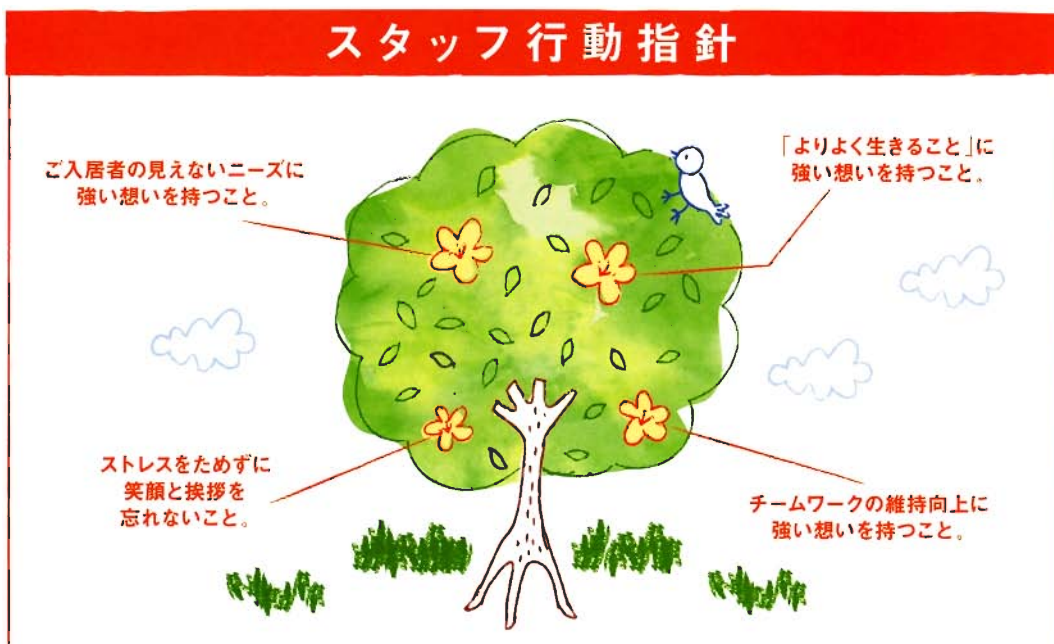
ご病気の方でも、その方らしい「あるべき人生」を  
描いていただくことができます。

ご入居者様の「あるべき人生」を想うことを通じて、

ご入居者様はもちろん、ご入居者様のご家族やスタッフも、  
温かく安心できるもう一つの家族のような深い絆を育んでいきます。

※法律で定められた介護体制基準は3:1です。

### スタッフ行動指針





## 医療・介護・看護スタッフが連携し、 あなたの「あるべき人生」を支えます。



病院、老人保健施設、デイサービスなど、様々な施設で管理者を務める。2007年にケアマネジャーの資格を取得。「すべての人の心には善がある」という想いのもと、ご入居者様にとってもスタッフにとっても快適な環境づくりをめざす。

ご入居者様お一人お一人と向き合い、  
「あるべき人生」を支援します

施設長 大塚 鶴久

「グラード」の大きな特長は、手厚い介護と24時間看護師が常駐し、クリニックと共にご入居者様を診ることができることです。この理想的な体制により「流れ作業的ケア」ではなく、ご入居者様の「あるべき人生」「あるべき生活」を実現できるものと考えております。ご入居者様お一人お一人と向き合い、その方らしい生き方をご支援いたします。



看護師のキャリア約18年。老人病棟、総合病院、クリニックに勤務後、訪問看護を経験。個人病院師長、老人保健施設の看護師長を経て「グラード名古屋駅前」で、看護師としてオープン当初から携わる。

24時間体制で信頼関係を築ける  
ゆとりある介護・看護をしたい

総師長 看護師 上平 深貴

看護スタッフは介護スタッフと協力し、24時間体制で健康管理を行います。常時、医師と連絡が取れる環境を整え、本来有料老人ホームでは受け入れ困難な医療依存度の高い方のご入居を可能にしています。



もう一つの家族のような、  
いつも笑顔でいられる安心と  
充実感があります。



### リビングルーム

暖かい日ざしがそそぐ、家庭的な雰囲気のリビングルーム。食事や機能訓練、憩いの場として利用します。



### お部屋

ご自分の時間を楽しんでいただくため、お一人に一つのお部屋です。ご入居者様らしいお気に入りのお部屋にさせていただくため、家具の持ち込みは自由になっています。



### 食事(厨房)

レストランのような厨房で作られる料理はいつもできたて。旬の素材を使った食事を楽しめます。



### お風呂

介護度が高くなっても快適にご入浴できるような特殊浴そうをご用意しております。

## 医療法人士正会院長対談

グラードは、医療機関と提携し、より質の高いケアを目指しています。  
提携医の医師、増井利彦院長と水野芳樹院長に、  
これからの老人ホームと医療のあり方についてお話を伺いました。

### 入居してよかったと思える「生活」を 医療面でサポート

—まずは増井先生から、4年3ヶ月「グラード名古屋駅前」「グラード浄心」にかかわっていただいたご経験を踏まえて一言いただけますか。

**増井** 「グラードのような「終の棲家」を目指している老人ホームの場合、施設の主人公はご入居者様であり、そのご家族であり、さらにスタッフの皆さんだと思えます。グラードに入居してよかったと思える「生活」がまずあって、それを医療面でサポートする形が理想だと思いますね。あまり医師・看護師が前に出すぎて病院らしくなってしまうと、ホームの良さが失われてしまいますから、そうならないよう心がけていますね」



※人工呼吸器が必要な気管切開を行った方の生活を支援しています。

### 介護・看護・医療の チームケアによる病気の早期発見がメリット

—続いて11月開設の栄エンゼルクリニック院長として「グラード栄東」にかかわっていただく水野先生一言お願いします。

**水野** 「私は20年以上一般の救急指定病院で診療させてもらいましたが、その経験からするとやはり病院は「急性期」を診ていかななくてはいけない。それが使命ですからね。ですから安定した患者さんには退院して、ご自宅に戻っていただくのが本来の姿なんです。でも、今の日本の現状はそれが難しい状況に



**増井利彦**(庄内クリニック院長)

藤田保健衛生大学医学部卒業。医学博士。  
名古屋・東京の病院を経て「グラード名古屋駅前」の協力医療機関「いまず外科」に勤務後、協力医療機関 医療法人士正会「庄内クリニック」の院長となる。内科・外科・在宅担当、外科認定医・もの忘れ相談医。

なっています。その意味では、グラードのような施設は「自宅の延長」「自宅の一部」という存在なんです。言い換えれば「必要な医療を提供できる自宅」という位置づけですね。私も提携医として、増井先生、他の皆さんのフォローをいただきながら、日々の健康管理、病院への紹介・連携、基礎疾患のケアなど医療面をサポートしていけたらと思っています」

**増井** 「水野先生、こちらこそよろしく申し上げます。老人ホームでは、先生のおっしゃられるように病気になる前のチェック、つまり予防医学という視点が重要ですね。グラードでは看護師が24時間常駐しているので、バイタルサインのチェックによる変化の早期発見ができるのがメリットでしょう」

**水野** 「看護師さんの役割が重要だということですね」

—「グラード」の看護師24時間常駐はそういう意味で先進的といえますね。

**増井** 「実際に一人暮らしの当院の患者さんが家で倒れているのが見つかり、最近往診をしたことがあり

# からも 「<sup>つい</sup>終<sup>すみ</sup>の<sup>か</sup>棲家」で あるために……。



**水野芳樹**(栄エンゼルクリニック院長)  
名古屋市立大学医学部卒業。医学博士。  
厚生連遠州総合病院、国立がんセンター、  
名古屋市立東部医療センター東市民病院  
消化器内科部長を経て、栄エンゼルクリニッ  
ク院長。担当は内科、在宅、健診センター、  
内科専門医。

ます。熱中症ですぐに点滴をしました。ホームヘルパーさんが訪問していたとのことですが、状態の変化に気づくのが難しかったかもしれませんね」

**水野** 「往診を中心におこなっている医師に聞いたことがあります、在宅ではバイタルサインや表情、身体の動き、熱感などの変化に気づくのが遅れ、大事に至ったり、逆に軽度のことで救急車を呼んでしまったり、医療的な判断は、ご家族やヘルパーさんでは、難しいと聞いたことがあります。施設でも介護職、看護職の連携、いわばチームケアが重要なんでしょね」



※経管栄養(胃ろうや経鼻)の方も万全の体制でサポートしています。

## 「質の高いケア・良い施設づくり」をサポートする 新しい医療

**増井** 「4年3か月、グラードを担当してきて、これまで勤務していた総合病院などと違う「やりがい」を感じています。今、お話のあったチームケアの視点でいうと、最初に触れたように施設の主人公は、ご入居者様・ご家族・スタッフです。その中の特にスタッフを育てながらかかわっていける。「育てながら」という表現は誤解があるといけないのですが、つまり「私はこのような治療をしたいけど、どうだろう」というようにスタッフ、とりわけ看護スタッフの意見を聞きながら、話し合いながら決定していく。その作業を通じてスタッフが成長してくれるのを感じます。「質の高いケアづくり」「良い施設づくり」に直接的にかかわっているというやりがいを感じるんですね」

—水野先生はこれから携わっていただくわけですが、そのやりがいや期待感をお持ちですか？

**水野** 「実は私は自分の親を病院で看取ったのですが、正直、よかったのかな？と思うことがあります。自宅で看るという選択肢もあったのではと思っています。現在の日本は最近のデータでは、病院で亡くなる方が87%を占めています。9割の方が病院で最期を迎え、在宅で亡くなる方は13%となっています。1953年は、逆に病院で亡くなる方が12%。在宅が88%でした。この9割という数字はあるべき姿ではないだろうなと感じますね。但し、在宅で看取ることは現実的には簡単なことではないので、グラードのような形態の施設は、今後、どんどん必要になるのではないのでしょうか。その先駆けともいえるグラードに医療的なサポートを通じ、かかわれることは、楽しみでもあり、嬉しくも思いますね。「新しい医療」にやりがいを感じています」

—今日は、お忙しいところお時間を取っていただきありがとうございました。今後ともグラードのご支援をよろしく願いいたします。



グラード栄東：◆地下鉄名城線「矢場町」駅

- ①番出口より東へ徒歩5分(400m)
- ◆地下鉄東山線「栄」駅
- ⑬番出口より南東へ徒歩9分(720m)

【施設概要】●所在地/〒460-008 名古屋市中区栄5丁目4番12号(地下鉄名城線「矢場町」駅①番出口より東へ徒歩5分(400m)・地下鉄東山線「栄」駅⑬番出口より南東へ徒歩9分(720m))●所有者/マルタ興産株式会社 代表取締役 田島佳代子●賃借人/株式会社想●敷地面積/1,386.47㎡●延床面積/4,960.30㎡(内賃借部分3,154.40㎡)●構造/鉄骨造地上11階建●開設日/2010年11月開設●居住の権利形態/利用権方式●入居時の条件/要支援1・2、要介護1～5と認定されている方。自立の方はご相談下さい。●介護に関わる職員体制/2:1以上●総居室数/計60室(定員60名)●介護居室面積/全個室18㎡●居室施設/トイレ・洗面台・エアコン・寝具・カーテン・ナースコール・TV配線・TEL配線●共用施設/浴室(機械浴槽付)・食堂兼機能訓練室●協力医療機関/栄エンゼルクリニック(週2回の訪問診療・訪問健康診断・健康相談)内科・消化器内科・健診センター



●お問い合わせ・資料請求は  
**☎052-238-0322**  
 〒460-0008 名古屋市中区栄5丁目4番12号  
 ホームページもご覧ください。  
<http://www.grado.jp/>  
 E-mail : info@grado.jp